

4月21日(金) 道の駅「みかも」オープン ～ 防災機能を備えた道の駅 ～

記者発表資料

藤岡町の国道50号沿線で整備を進めてきました、道の駅「みかも」が4月21日にオープンします。

道の駅「みかも」は、道路利用者の安全性向上、地域の活性化を目的として、平成15年度より事業に着手し、この度完成しました。

本事業にあたっては、新潟県中越地震で「道の駅」が防災拠点として重要な役割を果たしたことから、平成17年度に国が先行し『トイレの耐震』、『給水タンク』など防災機能の充実を図ってきました。

今後は、関係機関と調整を図りながら防災拠点としてのさらなる充実を図っていきます。

所在地 栃木県下都賀郡藤岡町大字大田和地先(国道50号沿い)

事業着手年度 平成15年度(防災拠点事業着手 平成17年度)

事業費 C = 約16億

供用 平成18年4月21日

平成18年4月11日

記者発表クラブ

栃木県政記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 宇都宮国道事務所

副 所 長

とくら けんじ
戸倉 健司

管理第二課長

きくち かずみ
菊地 一美

住 所 栃木県宇都宮市平松町504

TEL 028-638-2181



道の駅『みかも』防災拠点整備

概要

- 路線名:一般国道50号
- 所在地:栃木県下都賀郡藤岡町大和田(東北自動車道佐野藤岡ICから600m)
- 整備手法:一体型(地域振興施設含む)
- 供用:H18.4.21
- 防災拠点事業着手:H17
- 全体事業費:約1,600百万円
- 全体面積:約28,000m²

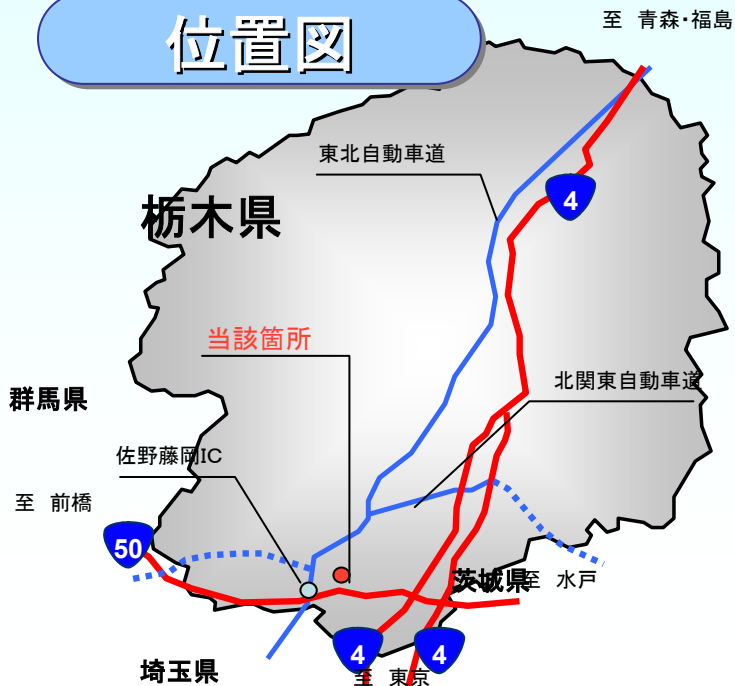
整備方針

道の駅『みかも』は、道路利用者の安全性向上、地域の活性化を目的とし、平成15年度より事業に着手し、平成18年3月に完成。
本事業にあたっては、新潟中越地震で『道の駅』が防災拠点として重要な役割を果たしたことを踏まえ、地域住民が日常的に活用している『道の駅』の機能を活かしながら、防災上の観点から機能の充実を図ったものである。平成17年度は国が先行し、トイレの耐震、給水タンク(飲料)などを整備。平成18年度以降は関係機関と調整を図り防災拠点としての更なる充実を図る。

役割

- ①避難所
- ②輸送拠点(物資の集配・分配等)
- ③情報発信
- ④首都圏への支援拠点

位置図



メニュー

- 『国の整備メニュー』
- トイレの耐震性(H17年度完)
 - 水(飲料用、トイレ用)、電源の確保(H17年度完)
 - 道路状況、被災状況等の情報発信
- 『藤岡町のメニュー』
- 地域防災計画への位置づけを検討(次期見直し時に指定予定)
- 『県のメニュー』
- 広域防災計画への位置づけを検討(次期見直し時に指定予定)



道の駅『みかも』防災拠点整備

防災拠点としての『役割』

①避難所

- 一次避難場所としてスペースの提供
- トイレ、飲料水等の提供

②物資等の集配・分配拠点

- 東北自動車道、国道50号を利用し、運ばれてきた救援物資等を集約し、「みかも」周辺の被災地各所に分配

③情報発信

- 道路の規制情報や被災の情報等について提供

④首都圏被災時の支援拠点

- 大地震による首都圏被災時に北からの物資輸送等の支援拠点

大規模地震





道の駅『みかも』防災拠点整備

防災拠点整備イメージ

トイレ



○情報提供施設



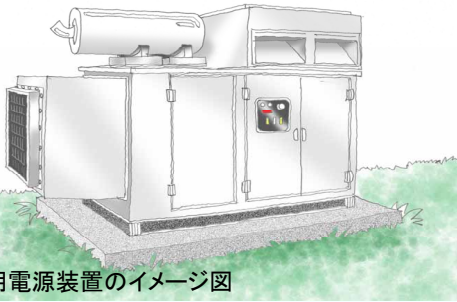
道路の規制、状況、被災地の状況等の提供

○給水タンク(飲料用)



至 前橋

○非常用電源装置



※非常用電源装置のイメージ図

○一次避難場所(スペースの提供)



○貯水槽(トイレ用) (地中)

